

棚倉町教育委員会指定「キャリア教育」 福島県教育委員会指定「キャリア教育推進事業」

自分のよさを伸ばし、  
「なりたい自分」の実現に向けてチャレンジする生徒の育成  
～学ぶ意欲とスキルを育てる授業づくり～



職場体験



学級活動

棚倉町立棚倉中学校



# 学校紹介

本校は、生徒会のスローガン  
「凡事徹底」を合言葉に、  
学校生活を送っています。



体育祭

教育目標 「生きる希望」と「生きる力」の育成

16学級 364名

## 本校生徒の実態

- 行事を通して学級・学年集団としてまとまることができる。
- 将来の夢や目標を持っている。
- ▲課題意識をもって学習に取り組む姿勢が弱い。
- ▲「なりたい自分」になるために、粘り強く取り組もうとする力が弱い。

# 発表内容

## 1 キャリア教育推進のポイント

## 2 今後の取組について

合唱練習

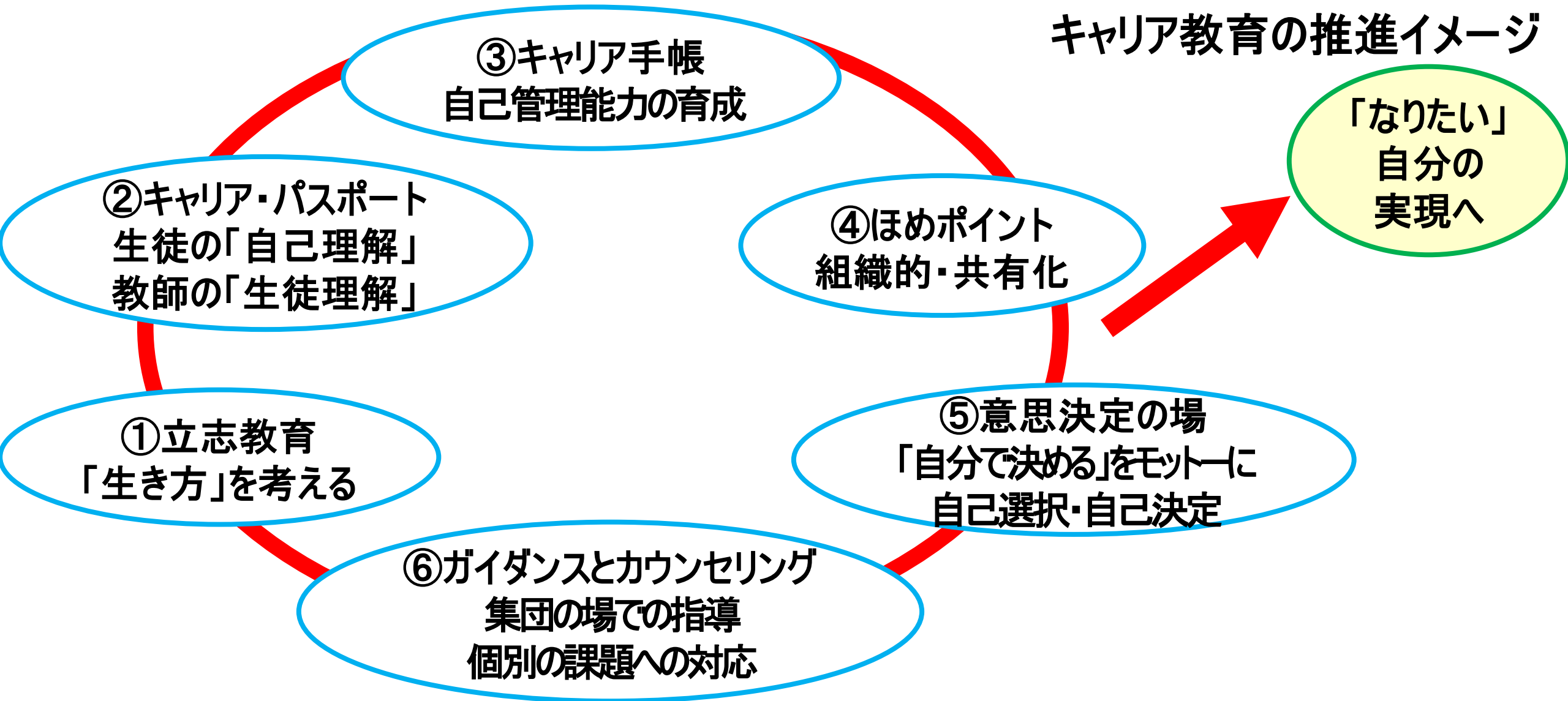


小・中交流



# 1 キャリア教育推進のポイント

キャリア教育の推進イメージ



# 1 キャリア教育推進のポイント

## 【研究副主題】

令和3年度 主体的・対話的に学び合う学習集団づくり

令和4年度 **学ぶ意欲とスキルを育てる授業づくり**

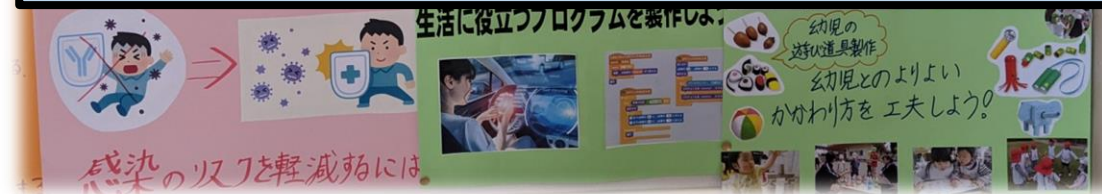
令和5年度 生涯の学びを支える自己マネジメント力の育成



教員・生徒の双方が、身に付けたい力を意識



学ぶ意欲の喚起(各教科・各学年ごと)



# (1) 立志教育の推進

小・中学校の成果を振り返り、「夢」の先にある「志」の視点で、将来を考える節目の行事

アドバイザー  
岡野誠さん

夢がゴールではない。その先に志がある。

人生の経営者は自分 自分で決める

志を求めて(1年)

志を立てる(2年)

志に向かって(3年)

立志式



## (2) キャリア・パスポートの活用

---

### キャリア・パスポートの活用による効果

児童・生徒が書いた学校行事の記録や、学期ごとの目標・振り返りの記録を上級学校へ引き継ぐことで、

#### ○生徒自身の自己理解

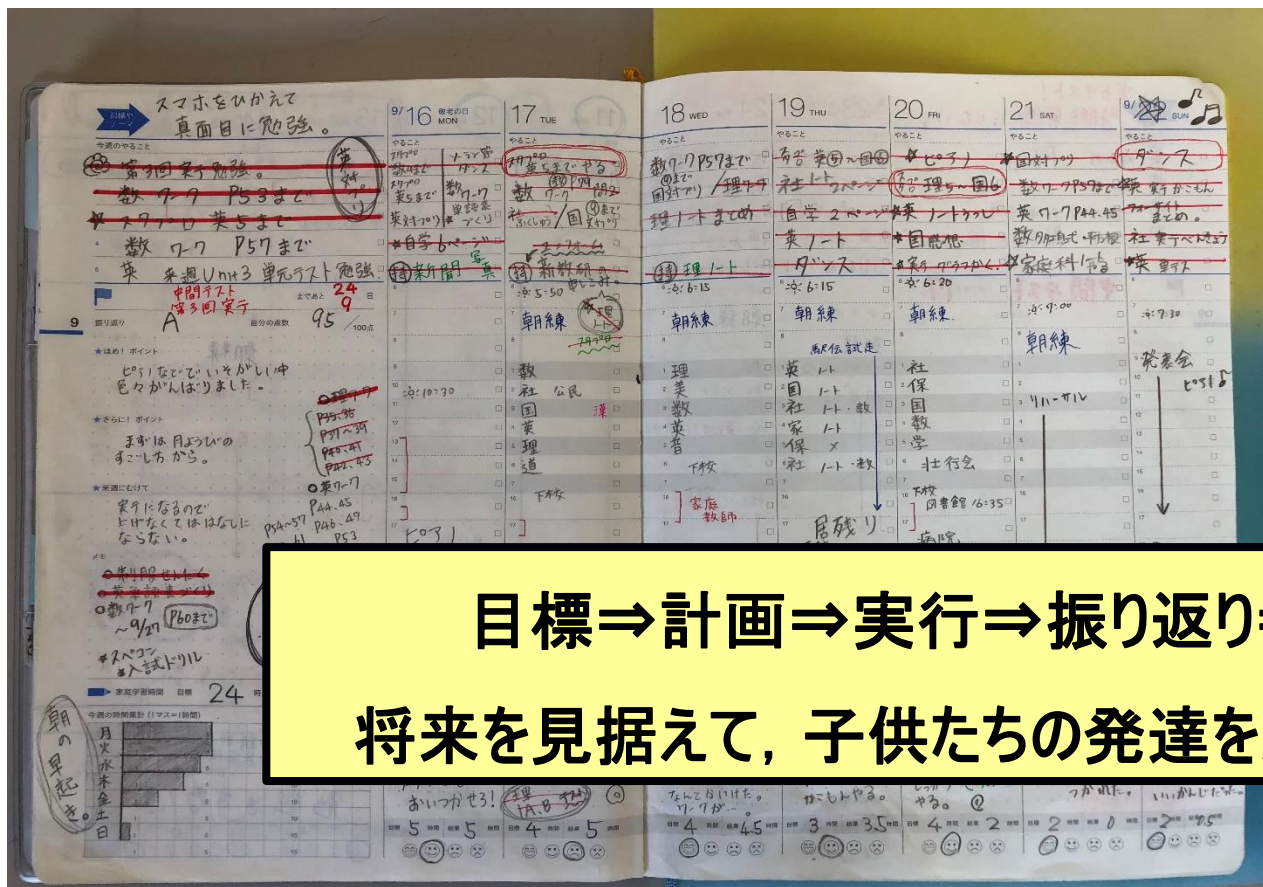
- ・自分自身の成長を実感し、意欲の向上につなげることができる。
- ・目標を設定し、振り返るというサイクルを形成することができる。

#### ○教師の生徒理解

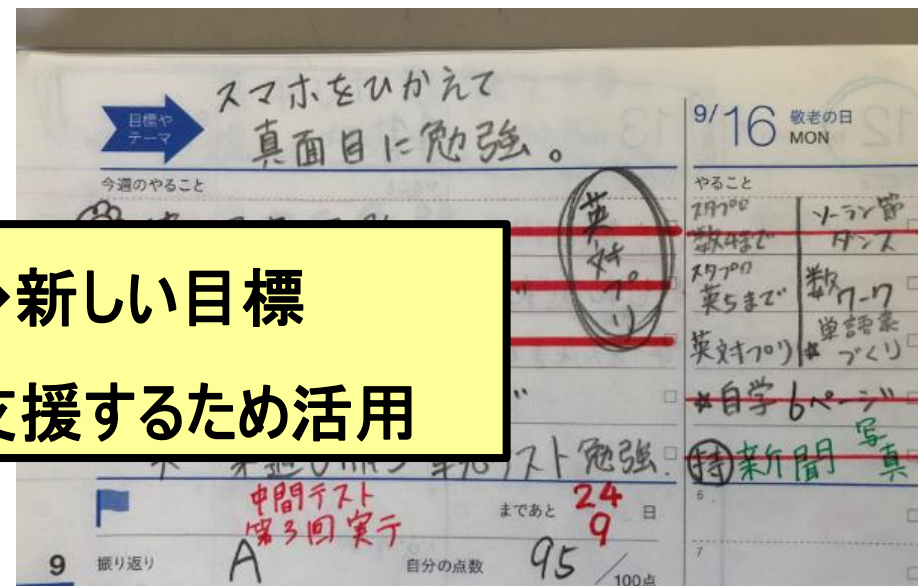
- ・多角的な視点から生徒一人一人のことを考えることができる。
- ・生徒や保護者との関わりに生かすことができる。

# (3) キャリア手帳の活用(フォーサイト手帳)

【合い言葉】 常に手元に置き  
「気づいたら、すぐに開いて書く」



目標⇒計画⇒実行⇒振り返り⇒新しい目標  
将来を見据えて、子供たちの発達を支援するため活用



教科等横断的な活用・常時活用



## (4) ほめポイントの共有

### 「ほめポイント」

設定した資質・能力に照らし合わせた、その子のよさや将来に向けて伸ばしたいところ。

学年ごとに、各学期で育てたい資質・能力を設定

→ ほめる 「できたことを見取って、価値付けする」の繰り返しを重視

ほめへのプラス

(ほめ) 例: あいさつが気持ち良くて良いね!

(ほめプラス) 例: あいさつができると立派な社会人になれるね。

組織的なほめ、ほめの共有化

保護者・地域とも共有していく

## (4) ほめポイントの共有～子どもの姿から～

### 【各学年で育てたい資質・能力】

1 学年 「互いに協力し合い、自分のよさを伸ばせる力」

2 学年 「自分のよさを大切にし、前向きに挑戦する力」

3 学年 「自分のよさを生かしながら、将来の生き方について  
考える力」

※ キャリア教育全体計画や各教科等の年間計画、各学年・各学期で育てたい資質・能力には、目の前の子どもたちの現状を踏まえた具体的な目標となる資質・能力の設定が必要。

# (5) 意図的・組織的な意思決定の場の設定

フォーサイト手帳活用の応用  
【自己選択・自己決定】

学年末テスト計画表(課題中心型) /年/組

教科名	国語	数学	英語	理科	社会
目標点	95 点	85 点	95 点	80 点	85 点
結果点	98 点	71 点	93 点	72 点	89 点
1	<del>1/28</del>	1/28 66~70	<del>1/28</del>	1/28 44~48	1/28 50~55
2	<del>1/29</del>	1/29 71~79	<del>1/29</del>	1/29 49~55	1/29 50~53
3	<del>1/30</del>	1/30 84~85	<del>1/30</del>	1/30 56~61	1/30 30~33
4	<del>1/31</del>	1/31 87~97	1/31 78~89	1/31 65~73	1/31 34~37
5	<del>2/1</del>	2/1 98~101	2/1 90~102	2/1 77~72	
6	<del>2/2</del>	2/2 102~104	2/2 15, 17, 19	2/2 73~74	
7	<del>2/3</del>	2/3 105~106	2/3 27, 29, 31	2/3 87~89	
8	<del>2/4</del>	2/4 107~108	2/4 10, 11, 12	2/4 77~78	
9	0	冬教	0	0	
10	0	2/23 国・英	0	0	

1/8  
718  
36  
+15  
51  
+17  
68  
+16  
75  
+2  
86  
90  
100  
102

112  
6.714  
6/10 59  
92  
120

日付	1/28	1/29	1/30	1/31	2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7	2/8	2/9	2/10	2/11	2/12	2/13	2/14	2/15
曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
残り数	105	98	91	85	78	71	64	57	50	43	30	25	20	15	10	5	0	0	0
残り日数	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	0
1日の目安数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	5	5	5	5	5	5	0	0
主な行事等					部活	標準					部活				部活	部活	部活	部活	

6.5 15 15  
98 15 15  
120 100  
90 15 15  
88 100 100

6. 14 15 15 65

学習の進め方を自ら調整する力の育成

テスト計画表(課題中心型)

## (6) ガイダンスとカウンセリングの充実

---

【ガイダンス】 **集団の場**で必要な指導や支援

【カウンセリング】生徒が抱える課題に**個別に対応した**指導

⇒ 双方の充実により、子どもたちの発達を支援

人間関係や集団づくり（学級経営）の充実

※キャリア・パスポートによる教師の「生徒理解」や、「ほめポイント」の共有などの取組を生かす。

## 2 令和5年度の取組について

---

### (1) 立志教育の推進

- ・ 「志」を立て、「生き方」を考える契機とする。

「1年・志を求めて」（ドリームマップ作成、等）

→ 「2年・志を立てる」（立志式）

→ 「3年・志に向かって」 **※学習活動の流れの確立**

## 2 令和5年度の取組について

---

### (2) 生徒の自発的・自治的な活動の推進

- ①「意思決定」「合意形成」の場の意図的・組織的な設定  
例) 生徒主体の学級活動の実施、生徒会活動の活性化  
→「自分で決める」をモットーに！
- ②キャリア・パスポートの活用推進  
→ 生徒の「自己理解」、教師の「生徒理解」の充実  
P D C Aサイクルの確立
- ③フォーサイト手帳の活用  
→ 自己理解・自己管理能力のさらなる向上

## 2 令和5年度の取組について

---

### (3) 探究的な活動の推進

- ・ 自らテーマを設定して学ぶ「**探究学習**」の実施  
(総合的な学習の時間を中心として)  
→ 自ら課題に気付き、学びを深める学習活動を通して、学ぶ意欲とスキルを向上させる。

## 2 令和5年度の取組について

---

### (4) 「ほめポイント」の明確化と共有

・ 各学年・各学期で育てたい資質・能力を

「ほめポイント」として共有

→ 生徒ができたこと・成長したことを見取り、  
組織的な「価値付け」を行う。



光輝けその未来



大いなる夢を育てん